

HIROキッズ 令和6年度（2024）7回目 集計

(別紙1)

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。
「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		参照 どちらも言えない 2 / 利用者（子どもさん）一人当たりの㎡数の条件は適切に満たしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9		参照 どちらも言えない 1 / 職員の配置数は適切に満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	参照 どちらも言えない 1 ・意見 いいえと回答したが、現在車イスの利用者はいない。 / 玄関入り口は階段ですが、建物内はバリアフリーです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	2	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		・意見 知らない / 部屋数が限られていて、訓練室などを調整して 個別の部屋や場所を使用できるように努めています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	参照 どちらも言えない 5 / 支援計画を職員が確認する時間を確保しています。業務改善やPDCAサイクルについては、改めてミーティング時に話すようにしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	参照 どちらも言えない 6 ・意見 知らない / 第1回から第7回の自己評価表の検証を行い、改善しつつあるものと、改善できていないものがあります。引き続き、検証後に改善を続けて、HIROキッズがより良くなるように努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		参照 どちらも言えない 2 ・もう少し職員全体で集まれる機会があればいい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	参照 どちらも言えない 3 / 令和6年より、外部の方で構成する第三者委員会を設置しました。ミーティング等に同席してもらって、より良い改善につながっています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		参照 どちらも言えない 3 / ミーティング時の情報共有や、外部の研修に参加しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		支援プログラムを作成して公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		参照 どちらも言えない 2 ・基本的には出来つつあるが全てとはいえない。 / アセスメントの適切な履行、計画の立案に努めます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	参照 どちらも言えない 1 / ミーティングで話すことは利用者（子どもさん）の様子を話す時間を重点に置いています。利用者（子どもさん）の最善の利益を考慮するよう努めています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	参照 どちらも言えない 2 / 計画に沿った支援に努めています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		参照 どちらも言えない 6 ・意見 分からない。 ・もう少し全体で集めれる機会をふやしたい。 / アセスメントツールは5回目の頃から標準化されたツールを用いています。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2	参照 どちらとも言えない 1 ・意見 打ち合わせの時間をもう少し確保したい。 / 今まで本人支援を中心に計画を立案してきました。今後も本人支援が中心になることは変わりませんが、ガイドラインにある「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」も今後改めて考えながらバランスよく計画を立案していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	参照 どちらとも言えない 4 ・意見 知らない。 / 中心スタッフで立案しています。今後、他のスタッフの意見を更に汲み取りながら、議論しながらチームで立案するように努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	参照 どちらとも言えない 3 ・意見 こまやかとまでは言えない。 / HIROキッズも今年から10年目に入り、同じようなプログラムになりがちなところはあります。新しい活動内容の工夫、新しい活動場所の開拓に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		参照 どちらとも言えない 2 / HIROキッズでは個別対応に努めています。最近は小集団での活動も促しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		参照 どちらとも言えない 3 ・意見 もう少し職員全体で集まれる機会を増やしたい。 ・パートなので、支援開始前の打ち合わせには参加していない。 / 午後一番に送迎確認、利用者（子どもさん）の確認事項やその日の注意点などを話し合っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		参照 どちらとも言えない 7 ・意見 打ち合わせの時間をもう少し確保したい。 ・パートなので、支援就労後の打ち合わせには参加していない。 / 支援終了後は残業につなげないために速やかに業務を終了して、振り返りの時間が不足しています。また、スタッフの意見の汲み取りが不十分なところもあったかもしれません。その日に振り返りが十分できない時には、翌日の午後のミーティングの時に時間を作ったり、その時に中心のスタッフがスタッフの意見を汲み取るように努めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		参照 どちらとも言えない 2 / 記録は努めて取るようにしています。支援の検証・改善につながるように努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		参照 どちらとも言えない 1
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5		参照 どちらとも言えない 5 / 遊び自体の大切さを確信して関わってきました。利用者（子どもさん）がのびのびとリラックスできる環境を提供してきました。成功体験、自己肯定感を育む場であると思います。一方、地域交流、利用者（子どもさん）が活動を企画したり、過ごし方のルールを作ったりする主体的に参画できる機会は 今後努めてまいります。
関係	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	1	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		参照 どちらとも言えない 3 ・意見 分からない。 / 児童発達支援管理責任者が出席しています。その中で時間調整が可能な場合、直接支援しているスタッフが参加しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		参照 どちらとも言えない 5 / 地域の関係機関との連携に努めていますが、今後より一層連携に努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		参照 どちらとも言えない 3 ・意見 もう少し密接に連携したい。 / 学校との情報共有に努めていますが、今後より一層連携に努めていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	参照 どちらとも言えない 5 / 利用開始前の関係者会議の時に、保育所から情報を頂いて情報共有して支援に生かしています。

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		参照 どちらとも言えない 6 / HIROキッズを利用して卒業していく利用者（子どもさん）の情報提供は、今後より一層努力していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	参照 どちらとも言えない 5
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	参照 どちらとも言えない 4 / 時々、機会を作っていますが、八女、広川町の自立支援協議会での関係を通して交流を増やしていきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		参照 どちらとも言えない 4 ・意見 知らない。 / リーベル主催の八女自立支援協議会、シエル主催の広川町自立支援協議会に積極的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		参照 どちらとも言えない 4 / 保護者と送迎の時やモニタリングの時などにお話しする機会を作っていますが、今後、利用者（子どもさん）についての共通理解をより深めていきたいと思います。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	参照 どちらとも言えない 6 ・意見 知らない。 / 自立支援協議会や社会福祉協議会からペアレントトレーニングの研修案内を頂いていて、保護者へのご案内も努めています。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		参照 どちらとも言えない 3 / 利用の契約の時に説明するようにしています。支援プログラムはホームページに掲載していますが、契約時にもお伝えするようにします。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	参照 どちらとも言えない 2 / 利用者（子どもさん）のHIROキッズでの普段の様子、保護者の方々の意向に留意しながら、作成するよう努めています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		参照 どちらとも言えない 2 / 保護者に計画のご説明をして同意を頂いています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		参照 どちらとも言えない 5 ・意見 分からない。 / 今後、定期的な保護者会、茶話会を行い、保護者の方々がより一層相談しやすい場を作りたいと思います。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3	参照 どちらとも言えない 5 / 保護者会、茶話会の開催は昨年 何回か行いました。今後、頻度を増やして保護者同士の交流の機会の提供に努めます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		参照 どちらとも言えない 3 / 苦情に対しては迅速に適切に対処するよう努めています。今後も引き続き継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		毎月 広報誌「ひろば」を発行しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		引き続き個人情報の取扱いに留意していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		参照 どちらとも言えない 1 / 今後も保護者との意思疎通に努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	参照 どちらとも言えない 4 / 近くの高齢者施設を時々訪問しています。感染症などのリスクを考慮しながら、今後も交流をしていきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		参照 どちらとも言えない 4 / マニュアルを作成しています。保護者に周知する機会を今後増やしていきます。

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		参照 どちらとも言えない 2 / 業務継続計画（BCP）を作成しています。取り組みは始めたばかりですが、机上訓練からはじめ、職員と話す機会を増やして災害に備えています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		参照 どちらとも言えない 3 / 契約時に頂いた情報をもとに気をつけています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		参照 どちらとも言えない 4 / 契約時に確認しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	参照 どちらとも言えない 1 無記入 1 / 安全計画を作成しています。設備、施設の危険個所を確認して措置を講じて安全に努めます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		参照 どちらとも言えない 1 無記入 1 / 安全計画を保護者に伝え、保護者との連携に努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		参照 どちらとも言えない 1 ・意見 知らない。 / ヒヤリハット報告書を作成しています。情報を共有して事故の未然防止につなげていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		参照 どちらとも言えない 2 / ミーティング時など、虐待防止ついて考える機会を作っています。利用者（子どもさん）の支援の中では難しい、厳しい局面もあり、行動制限、身体拘束適性の観点も常に考慮して不断的努力を継続していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		参照 どちらとも言えない 2 / 身体拘束適性化委員会で話し合っています。行動制限が必要な利用者（子どもさん）については、支援計画に記載しています。